



津駅周辺道路空間検討の取り組み

津駅周辺のビルや駅前広場の姿が今の形になって約半世紀。車両の出入りや歩行者の回遊など、駅周辺の道路空間の利用状況が変化してきました。

津駅東口が国道23号に近接しているという特徴に着目し、駅とも直結する集約型の公共交通ターミナルの導入による新たな交通結節点づくりを念頭に、昨年度から県とともに「津駅周辺道路空間検討会」を設置し、今年度からは国・県・市が連携して検討しています。また、同時に津駅西口の再整備に向けた調査を津市で進めています。



大谷踏切

拡幅工事中



幅2.5mの踏切を11mに拡幅する工事を進めており、令和6年度の開通予定です。



江戸橋



志登茂川の河川改修事業により江戸橋が新しく架け替えられ、令和元年度に供用を開始しました。



都市計画道路 河芸町島崎町線



栗真町屋町の海岸堤防と都市計画道路河芸町島崎町線が一体整備され、平成27年度に供用を開始しました。



新江戸橋

国道23号の新江戸橋は、昭和33年(下り車線)と昭和50年(上り車線)に架けられました。

